

## 山の辺学童保育所

### 大阪市立科学館へ遠足 8月28日(金)

夏休み最後の楽しみとして今年は「大阪市立科学館」へ行くことにしました。参加率もほぼ100%に近く、とても楽しみにしていました。

みんなで大阪まで行くという事でワクワクし、「行ってきま〜す。」の声がいつもより弾みます。

行き先は都会。さて、何事もなく無事に到着するのやら…。

昨年までは遠出であってもJR一本で着くような、乗り継ぎなしの場合が多かったのですが、今年は違います。「肥後橋」まで行くには、西大寺で乗り換えて、難波で地下鉄に乗り換えて、ようやく着くのです。

近鉄は混んでいなかったものの、地下鉄は満員状態。電車の中の人も子供達が乗ってくる事を察知し、奥には詰めてくれたのですが、まだまだ全員が乗り切れず、二つに分ける事も出来ないで仕方なしに後ろから駅員さんのように子供達をギュウ……。すると、「イタタッ!と男の人の声が…。見ると知らないおじさまも一緒に後ろから押していました。「あっ、す、すいませんっ…。」全員乗せないといけないという使命感で頭がいっぱいだったので、よそのおじさまが混じっている事など露知らず。赤面しつつもそんな事は言っていられません。

そんなこんなでなんとか到着しました。

「大阪市立科学館」=「プラネタリウム」というくらいに「プラネタリウム」は有名です。最近のプラネタリウムは進化していますから、子供から大人まで存分に楽しめるように工夫されています。つつい寝てしまうような事はなく（椅子はフランス製のふかふかした椅子）、真剣に夜空の世界に浸っていました。普段でもこのように星が沢山見えるといいのですが、なかなか見えないのが現実です。だから、プラネタリウムに行くと、温かい解説と共に星に包まれてやんわりとした気分になれるのですね。そんな束の間の時間も終わり、「あ〜、良かったなあ。」の言葉と共に現実へと引き戻されました。

館内にある「おもしろ実験教室」にも全員で参加しました。先着50名なので、ほぼ山の辺学童の子供達が占めて

しまいましたが、光の三原則を利用した様々な実験を見て「お〜。」「ほ〜。」と歓声が時々上がり、「なんで?なんで?」と首をかしげて不思議がる子もいました。

別の場所では、自分達で色々な実験を楽しめるような設備があり、丸一日いても飽きませんでした。子供達も満足した様子でした。

今回は電車の乗り継ぎが多かったので、様々な事を心配しましたが、他人に迷惑を掛けることもなく無事に帰って来られたので良かったと安堵しております。

